

English for Bunkyo University & the local community (1993-present)

文教大学及び近隣エリアの市民のための英語(1993年から現在)

情報学部 ジュリアン・バンフォード

1993年より現在に至るまで文教大学湘南総合研究所主催の英会話講座で語学教授をしてきました。私がこれらの講座を企画、担当した理由は三つあります。一つは、情報学部と国際学部の英語のカリキュラムが真剣に英語をマスターしたいと願う学生にとって不十分であった、また依然としてそうであること。二つ目に、文教大学湘南キャンパスがこの地域にとっての教育の中心的役割を担う機関になって欲しいと思っていたこと。三つ目に、これらの講座は英語教授法の新しいメソッドやマテリアルについて研究という観点からも私にとって大きな実験、研究、実践の場であった為である。

1. 文教大生、文教大教職員 及び近隣市民向け集中英語講座

(1993年より1998年まで)

1993年3月22日から4月5日の間に最初の短期集中英語講座が開かれました。約40人の参加者が一日約7時間学びました。授業料は可能な限り低く設定しました。この間、春休み、夏休み期間中の年二回のペースで短期集中英語講座を行いました。各短期集中英語講座は約8日間、参加者が最大で60人というものになりました。

2. 文教大生、文教大教職員 及び近隣市民向け「ダブルスクール」イブニング英語講座

(1993年より1999年、2003年より2004年)

1993年9月24日から1994年1月18日までの間、78人の受講生が月曜、火曜、金曜の4時40分から6時10分の間に行われた英語講座に参加。授業料は可能な限り低く設定。授業の様子はビデオテープに録画し、当日欠席した受講生が利用。録画テープは現在も自習英語教材として文教大生や地域住民に利用されている。初年度は週三回の講座であったが、次年度より春、秋学期期間中の週二回、4時40分から6時10分の間に行われるコースとなる。

3. 文教大生、文教大教職員 及び近隣市民向け土曜英語講座

(1999年より現在まで)

近隣市民や文教大卒業生の多くから「ダブルスクール」イブニング英語講座に時間的都合により参加できないので、他の曜日に英語講座を新規に開設して欲しいという要望があり土曜日の英語講座を開始する。1999年4月17日より2000年1月29日までの28回に亘り、最初の土曜英語講座を行う。最初の申し込みには115人もの応募があり、毎回平均75名程の受講者が参加。クラスは午後1時5分より午後3時35分までの150分間。授業料は可能な限り低く設定し、金額は初年度から値上げなしで提供している。最近では、平均45名程の参加者がこの土曜英語講座を受講している。講座は当初年28回から現在は年21クラス程に縮小させられた。授業の様子はビデオテープに録画され自習英語教材として文教大生、卒業生、文教大教職員、及び近隣市民が自習英語学習教材として使用。

4. TOEFL/TOEICの模擬テスト (1993年から1996年まで)

湘南キャンパスでETS (Educational Testing Service)公認のTOEFL/TOEICの模擬テストを企画、開催する。50名～150名程が各公認模擬テストを受験 (TOEFL公認模擬テストは7月、TOEIC公認模擬テストは12月)。現在はライセンスセンターに引き継がれ、両公認模擬テストは続いている。

5. TOEFLテストセンター (1996年より2000年まで)

文教大学湘南総合研究所はETSと提携し、年一回か二回の正式TOEFLテストを文教大学湘南キャンパスで開催。毎回180名程度の受験者が当キャンパスで受験。私は文教大学湘南キャンパステストセンターの責任者としてテストを運営。ETSがTOEFLテストを独自テストセンターでのコンピューターを使用したテストに変更したために、この文教大学湘南キャンパスTOEFLテストセンターも幕を閉じる。